

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 02 循環型社会の形成

基本事業 01 ごみの減量化

主管課： 生活環境課

関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、市内事業者	家庭・事業者から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを減量する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

家庭系ごみの排出量（1人1日当たり換算） (g) 生活環境課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
573.00	558.00	557.00	559.00	552.00	545.00
向上指針	下がると良い	(状況) 平成30年度の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量は、前年度比1g減となり、基準値からは16 g 少ない状況にあり、順調に推移しています。			
対前年度	横ばい	(原因) 前年度比で可燃ごみが30 t (0.3%減)、総量でも68 t 増加していますが、人口増加が主な要因であり、1人当たりの排出量は減少しています。			
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

事業系ごみの排出量 (t) 生活環境課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
3,864.00	4,114.10	4,060.00	3,140.00	3,122.00	3,113.00
向上指針	下がると良い	(状況) 市内事業所が増加しており、事業系ごみの排出量は増加傾向にありますが、前年度比では54.1 t (1.3%) 減少しております。			
対前年度	横ばい	(原因) これまで事業所に対する働き掛けが十分でなかったため、毎年実施している事業所対象の環境アンケートに、平成27年度から古紙類リサイクルに関する情報を同封して周知しています。なお、アンケートの結果、各事業所はごみの分別に積極的であることが分かり、成果として表れてきたものと思われます。			
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	173	4,753	4,353	5,307	5,307
人件費	1,468	3,456	1,870	0	0
トータルコスト	1,641	8,209	6,223	5,307	5,307

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

家庭ごみは、可燃ごみの重量比約40%を占める生ごみの減量化を図るため、各種の啓発活動を実施してきたこともあり、目標値に対して順調に推移しています。
事業系ごみについては、アンケート結果より意識の高まりは伺えますが、結果に十分反映されるまでには至っていないのが現状です。

推進状況	一部停滞あり
次年度への課題	課題あり
成果方向性	向上
コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価